

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2024-05-22 改訂番号 1.2

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Ready Gel TBE-Urea

カタログ番号 1611115, 1611117, 16111133, 3450086, 3450088, 3450089, 3450090, 3450091, 3450092, 3450093

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 USA

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547 **USA** 

日本法人/連絡先住所 140-0002

東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life\_ps\_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬 情報なし

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 1B
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

## ラベル要素



注意喚起語 危険有害性情報

ページ 1/8

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

## 注意書き

安全対策

・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること 応急措置

・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること

#### 保管

・該当しない

#### 廃棄

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

#### 他の危険有害性

該当しない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 退合物

	6丁物具 庞日物少色的						
ſ	化学名又は一般名	CAS No.	重量%	化審法インベ	化審法番号	安衛法インベ	安衛法番号
ı				ントリ		ントリ	
Ī	ホウ酸	10043-35-3	0.3 - 0.99	既存	(1)-63	既存	(1)-63
ſ	エチレンジアミン 四酢酸ニナトリ ウム	6381-92-6	0.1 - 0.299	既存	(2)-1265	情報なし	

### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

#### 労働安全衛生法

通知公象物質 法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第 危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物 施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3

法第57条の3

化学名又は一般名	規則名称	CAS No.	含有率 %	施行日
ホウ酸	ホウ酸	10043-35-3	0.99	

表示対象物質 法第57 条第1 項 施行会第18 条第1号 第2号·别表第9 及び第3号·别表第3

<u> </u>		<del>XUMUT MXMU</del>		
化学名又は一般名	規則名称	CAS No.	含有率 %	施行日
ホウ酸	ホウ酸	10043-35-3	0.99	

### 毒物及び劇物取締法

該当しない

### 4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

ページ 2/8

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人

予防措置 用保護具を使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊** 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。 衛生対策

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。製品とラベルの指示に従って保管してください。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
ホウ酸 10043-35-3	-	-	STEL: 6 mg/m³ inhalable particulate matter TWA: 2 mg/m³ inhalable particulate matter

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく 露限界値

ページ 3/8

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止 情報なし。

保護具

**呼吸用保護具** 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

**手の保護具** 適切な手袋を着用する。

**眼及び/又は顔面の保護具** 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観ゲル物理状態固体色無色臭い無臭臭いのしきい値情報なし

 特性
 値
 備考・方法

 融点/凝固点
 データなし
 情報なし

 沸点又は初留点及び沸点範囲
 データなし
 情報なし

 可燃性
 データなし
 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし 分解温度 データなし 情報なし データなし 情報なし

相対密度データなし情報なし相対ガス密度データなし情報なし粒子特性特性

**粒径** データなし 該当しない **粒径分布** データなし 該当しない

その他の情報

**爆発性** 情報なし 酸**化性** 情報なし

### 10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

 化学的安定性
 通常の条件下で安定。

 危険有害反応可能性
 通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

**混触危険物質** 提供された情報に基づき知見なし。 **危険有害な分解生成物** 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 21,897.40 mg/kg ATEmix(経皮) 144,385.00 mg/kg

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ホウ酸	= 2660 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg ( Rabbit )	> 2.12 mg/L (Rat) 4 h

#### 略語及び頭文字 Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 情報なし。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 分類できない。

#### 発がん性

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	IARC
ホウ酸	_	Group 2A
10043-35-3		·

凡例

国際がん研究機関

グループ2A - ヒト に対する発がん性がおそらく ある

生殖毒性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

JGHS / JP ページ 5/8

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤えん有害性 分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
ホウ酸	_	_	EC50: 115 - 153mg/L (48h,
			Daphnia magna)

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

13433 H3 HK	
化学名又は一般名	分配係数
ホウ酸	-1.09
10043-35-3	

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

情報なし。 他の有害影響

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

### 14. 輸送上の注意

**IMDG** 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 IATA 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

### 15. 適用法令

#### 国内規制

ル学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 労働安全衛生法

通知対象物質

ページ 6/8

改訂日 2024-05-22 Ready Gel TBE-Urea

法第57条の2、 施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3 表示対象物質

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表第3

#### 毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

化学名又は一般名	CAS No.	化審法
エチレンジアミン四酢酸ニナトリウム	6381-92-6	優先評価化学物質

#### 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4 水道法

水道法第4条、法定水質基準

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

#### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

### 16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2024-05-22 改訂日

既存情報のフォーマット変更・更新済。

# 安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 最大限界值 TWA 天井値 経皮吸収 Sk\* 感作性物質

#### 本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

**Environmental Protection Agency** 

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

アロススト設け同工性量にデッタフードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

国际統一化学情報ゲーダベース(IOCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

U.S. National Toxicology Program (NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

世界保健機構

ページ 7/8

免責事項 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり

ページ 8/8